

## 執筆者紹介

### 藤文驥

Teng Wenji

一九四四年生まれ。北京電影製片廠、映画監督。監督作品『棋王』『黄河語』『曼荼羅』（曼陀羅）若き日の弘法大師・空海）

### 四方田 犬彦

Yonoda Inuhiko

一九五三年生まれ。明治学院大学言語文化研究所所長。映画史。『電影風雲』『回避と拘泥』『魯迅』

### 白井 啓介

Shirai Keisuke

一九五二年生まれ。文教大学文学部中国語中国文学科教授。中国現代戯曲文学、中国映画論。「曹禺戯曲の舞台指示——「日出」から「北京人」まで」「中国映画史に見る作品系譜」「洪深の戯曲表現——二つの中国版「皇帝ジョーンズ」を手がかりに」

### 垂水 千恵

Tarumi Chie

一九五七年生まれ。横浜国立大学留学生センター教授。台湾文学。『台湾の日本語文学』二次大戦期間の日台文化状況と呂赫若——以其音楽活動を中心「呂赫若の演劇活動——その演劇的挫折と文学への帰還」

### 佐藤 忠男

Sato Tadamasa

一九三〇年生まれ。日本映画学校校長。映画

## 謝飛

Xie Fei

一九四二年生まれ。北京電影学院副院長、映画監督。監督作品『本命年』（黒い雪の年）『香魂女』（香魂女—湖に生きる）『黒駿馬』（草原の愛—モンゴリアン・テール）

## 路海波

Lu Hainbo

一九五〇年生まれ。中央戲劇学院影視編導系主任（映画・テレビ脚色演出学部長）。映画・テレビドラマ論、演劇論。『戯劇管理』『電視劇美学』『話劇藝術概論』（共著）

## 詹相持

Zhang Xiangchi

一九四〇年生まれ。北京電影学院教授、映画監督。監督作品『櫻』（桜—さくら）『成吉思汗』（ジンギス・カン）『金秋鹿鳴』

## 李少紅

Li Shaohong

一九五五年生まれ。北京電影製片廠、映画監督。監督作品『血色清晨』（血祭りの朝）『四十不惑』『紅粉』（べにおしろい紅粉）

評論。『日本映画史』（全四冊）『世界映画史』（上・下）『韓国映画の精神——林権澤監督とその時代』

### 焦雄屏

Jiao Xiongping

一九五三年生まれ。台湾電影中心。映画評論、映画脚本。「焦雄屏看電影・好萊塢系列」「香港電影新貌」「台湾新電影」

### 中津 俊樹

Nakatsu Toshiki

一九七三年生まれ。東北大学大学院国際文化研究科博士後期課程。中国現代史。中国文化大革命期における『極左派』紅衛兵運動と知識青年運動——『知識青年上山下郷運動』との関わりを見る。『下からの社会再編の試み』——『文革期における造反運動の展開と「四・三思潮」』

### 十河 俊輔

Shiohara Shunroku

一九七四年生まれ。塾講師。在満朝鮮人史。『一九二〇年代満洲における独立運動団体と朝鮮人社会——正義府を事例として』

### 藤森 猛

Fujimori Takemichi

一九五七年生まれ。愛知大学現代中国学部講師。中国芸術社会論、中国語彙論。「中国映画における民族化の一面」